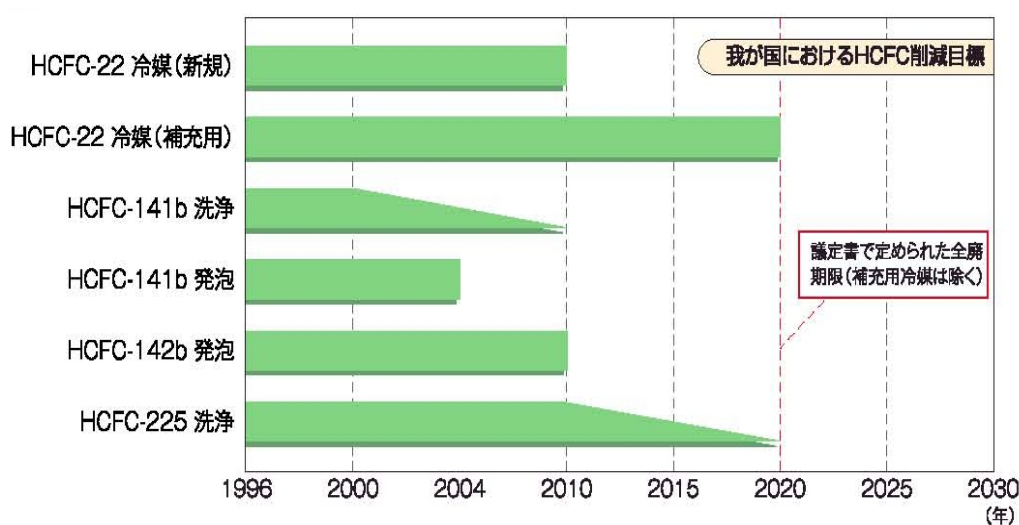


モントリオール議定書に基づく規制スケジュールについて

1. 我が国におけるオゾン層破壊物質の削減

我が国は、モントリオール議定書に基づくオゾン層破壊物質の削減を着実に進めており、CFC、ハロン(1993 年末)、四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタンの生産・消費を 1995 年末に全廃した。

HCFC については、2007 年の議定書締約国会合で、先進国の消費削減幅の深掘り及び生産の段階的削減・全廃等を決定。これを受け、我が国は 2010 年から HCFC の生産・消費量を基準量比 75%以下に削減することとし、国内対策としては、2009 年末までに HCFC-22 の新規冷媒用途、HCFC-141b の洗浄用途、HCFC-142b の発泡用途について全廃することとしている。



2. 開発途上国におけるオゾン層破壊物質の削減

モントリオール議定書上、開発途上国は削減が猶予されており、CFC 等主要なオゾン層破壊物質は 2009 年末までに生産・消費を全廃することとしている。我が国は、開発途上国の基礎的需をを満たすため一定量を製造していたが、これら物質の輸出向け製造も 2009 年末で全廃する。

規制物質	規制開始	全廃期限	基準量
CFC(CFC-11 等)	1999 年	2010 年	1995～1997 年の平均消費量
ハロン	2002 年	2010 年	1995～1997 年の平均消費量
その他 CFC	2003 年	2010 年	1998～2000 年の平均消費量
四塩化炭素	2005 年	2010 年	1998～2000 年の平均消費量
1,1,1-トリクロロエタン	2003 年	2015 年	1998～2000 年の平均消費量
HCFC	2013 年	2030 年	2009～2010 年の平均消費量
臭化メチル	2002 年	2015 年	1995～1998 年の平均消費量